

戦国奥三河における3つの転換点

永正5年	(1508)	長篠城築城	今川氏
12年	(1515)	野田城築城	
享祿2年	(1529)	今橋城(吉田城)攻め	
		⇒東三河の国衆が松平清康の配下に加わる	松平氏
		宇利城の戦い	
		⇒三河国の松平家のもとで統一が果たされる	
天文4年	(1535)	①守山崩れ	今川氏
		⇒松平氏の弱体化により、流動化する	
永祿3年	(1560)	②桶狭間の戦い	徳川氏
		⇒徳川家康(松平元康)の独立	
4年	(1561)	今川氏真、野田城を攻略	
		⇒今川氏からの独立のための抗争	
5年	(1562)	菅沼定盈、野田城を奪還	
元龜3年	(1572)	三方原の戦い	徳川氏 武田氏
4年	(1573)	武田信玄、野田城を攻略	
		⇒奥三河が武田氏によって支配される	
		③武田信玄没	
		⇒武田氏の支配が一旦弱まる	
		奥平氏が徳川氏に帰属	徳川氏
天正3年	(1575)	長篠・設楽原の戦い	

(永祿五年)七月二十四日 松平元康、菅沼定盈に三河国富永郷などの本領を安堵する。

二二七 松平元康判物 菅沼家文書

一 富永之郷 塩谷之郷 矢部片山之郷

一 吉田之郷 宇利之郷 八名井之郷

一 養父之郷 楽筒之郷 多米当之郷

一 長山之郷 小屋敷方 石田 得貞

一 河田之郷 いな木村之郷 江村之郷

一 橋尾之郷 麻生田之郷 三橋之郷

一 東条之郷 宮地之郷之事

右、為御本地知之条、不可有相違、新知者任先判、聊不可有異儀者也、仍如件

松平藏人佐元康(花押)

七月廿四日

菅沼新八郎殿参

為当